

令和7年第1回臨時会

重点支援地方交付金活用し 全世帯に1万円の燃料購入補助券

議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL



令和7年第1回議会臨時会は、1月23日に開催されました。
町側から専決処分の承認（条例の一部改正）2件、補正予算1件が提案され、それぞれ原案どおり承認・可決しました。

6年度一般会計補正予算（第9号） ぶどう棚雪害対策に640万円

年末に成立した国の6年度補正予算（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）に対応する補正が主なものです。

町では、この交付金を活用し、原油高騰対策として全世帯に燃料購入補助券1万円分を交付します。

《歳入の主なもの》

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
1億625万円

第142号
令和7年4月24日（2025）
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホーム
ページは
こちらから



議会フェイス
ブックは
こちらから

《歳出の主なもの》

県所得割非課税世帯支援事業補助金 971万円
財政調整基金繰入金 1億3908万円

原油高騰対策（燃料購入補助券） 5538万円
非課税世帯物価高支援給付金 5040万円
県所得割非課税世帯支援給付金 800万円
ブランド農業生産振興対策事業（雪害） 198万円

雪害対策緊急農道除雪委託 400万円
雪害対策緊急農道除雪機械借り上げ料 40万円
町道除雪 1億3000万円

賛成討論

渡辺 正男

燃料購入補助券の交付は、世帯単位だが、公平・平等に配慮するなら、一人ひとりに配分すべき。8人世帯もあれば単身世帯もある。お隣の中野市では商品券を世帯単位ではなく一人ひとりに交付した実例もある。電気料に対応していないのも今後の課題。年末の降雪によるぶどう棚倒壊被害に対する支援策については、部会以外の生産者への支援も行き渡るように慎重な配慮をお願いしたい。



雪害ぶどう棚復旧作業

もくじ

令和7年第1回臨時会・第2回定例会 関連記事	454443
審議議案と議員の賛否	423931
一般質問	313028
7年度予算審査	
陳情・発委・議会全員協議会	
第18回議会報告会	
あの意見どうなった？	
みんなのひろば・編集後記	

4544434239313028

令和7年第2回定例会

こども基本条例を制定 こどもにやさしいまちづくりを宣言



改修が先送りになった文化センター

令和7年第2回議会定例会は、2月26日から3月19日までの22日間にわたり開催されました。

町側から6年度各会計補正予算5件、売買契約の締結1件、志賀高原辺地に係る総合整備計画策定、特定の事務を取り扱う郵便局の指定、こども基本条例など条例の制定4件、条例の一部改正11件、令和7年度各会計予算7件、議会側から条例の一部改正3件が提案され、それぞれ原案どおり可決しました。

6年度一般会計補正予算（第10号）

11事業3億5391万円を次年度へ

6年度各会計補正予算4件の審査は、予算決算審査委員会に付託。2日間にわたり審査した結果、それぞれ原案どおり可決すべきものとなりました。

条例の制定

こども基本条例

児童の権利に関する条約の4つの原則である「差別的禁止」「こどもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「こどもの意見の尊重」の考えに基づき、こどもは守られる存在であるとともに、権利の主体

であるという共通認識を全ての町民が持つことができるよう、こどもの権利や子育て支援に関する基本理念を示し、地域社会の未来を共に創造していくパートナーであるこどもの声に耳を傾けてその意見や考えを尊重し、町全体でこどもの育ちと学びを支える「こどもにやさしいまちづくり」を推進していくことを宣言し、条例を制定します。

教育支援センター設置条例
登校等が困難な児童生徒に対する適切な支援を行うために教育支援センターを設置します。
職員体制は2人で、教育相談、多様な学習活動支援や義務教育の機会の確保に対応するものです（開設時間は9時から17時）。
通所は、校長裁量で登校扱いとなります。

霊園条例

これまでまちづくり観光局で維持管理を行ってきた藤ノ木霊園を7年度から町に移管するものです。観光局で管理していた永代使用料としての預り金5889万円は町に移し新たに霊園基金として積み立てます。

《歳入の主なもの》

2847万円
減債基金元金積立金

《歳出の主なもの》

2740万円
文化センター工事設計監理

急速充電設備設置事業
△1484万円
ふるさと寄附金返礼品
△616万円
農地利用効率化等支援交付金
△1000万円

ふるさと基金元金積立金
2592万円

6年度一般会計補正予算（第11号）

町道除雪費 計3億6000万円

豪雪にともない、町道除排雪費用の不足が見込まれるため、8000万円を増額するものです。

これにより6年度の町道除排雪費総額は、3億6000万円となります。

《歳入の主なもの》

8000万円
財政調整基金繰入金

町道除雪 8000万円

公開します 審議議案と議員の賛否 令和7年第1回臨時会

上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意	結果	小田孝志	畔上恵子	小林仁	志鷹慎吾	塚田一男	湯本るり子	徳竹栄子	高田佳久	渡辺正男	山本光俊	小林克彦	白鳥金次	湯本晴彦
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度一般会計補正予算（第9号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

公開します 審議議案と議員の賛否 令和7年第2回定例会

上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意	結果	小田孝志	畔上恵子	小林仁	志鷹慎吾	塚田一男	湯本るり子	徳竹栄子	高田佳久	渡辺正男	山本光俊	小林克彦	白鳥金次	湯本晴彦
令和6年度一般会計補正予算（第10号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
志賀高原辺地に係る総合整備計画の策定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
霊園条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
資金積立基金設置条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る運営及び人員に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国際交流員任用条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
観光施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育支援センター設置条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教員住宅に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
こども基本条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度一般会計予算（修正案）※1	賛少	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	—
令和7年度一般会計予算（原案）	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
令和7年度国民健康保険特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度後期高齢者医療保険特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度介護保険特別会計予算	賛多	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	—
令和7年度公共下水道事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度農業集落排水事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度水道事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度消防団小型動力消防ポンプ付積載車購入の売買契約の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和6年度一般会計補正予算（第11号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
価格による入札方式における最低制限価格等の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定についての陳情書	賛多	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充についての陳情書	賛多	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化についての陳情書	賛多	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
建築士事務所賠償責任保険への加入についての陳情書	賛多	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める要望書	賛少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※1 賛成・反対同数のため、議長裁決により否決となる。

ズバリここが知りたい

論戦

学校給食費の無償化、带状疱疹ワクチン定期接種化推進、災害時の共助「地域力」、小中学校におけるいじめ及び不登校、総合型地域スポーツクラブ、上水道及び下水道、「こども基本条例」制定の目的と理念は、町制 70 周年記念事業にどう取り組むか、新経済振興課とまちづくり観光局の役割分担をどうするか、移住・定住、空き家の有効活用、小学校 1 校統合、インバウンド関連事業や事業外で直面する喫緊問題、職員採用、など

3月3日、4日の2日間にわたり行われ、登壇議員は7人、傍聴者は延べ22人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者 1 人の質問時間は 25 分です（答弁を含めて概ね 1 時間）。

①	 湯本 るり子	・学校給食費の無償化について ・町の公共施設の借地料について ・小学校統合について
②	 畔上 恵子	・带状疱疹ワクチン定期接種化推進について ・災害時の共助「地域力」について ・各施設に設置されている A E D について
③	 塚田 一男	・小中学校におけるいじめ及び不登校について ・総合型地域スポーツクラブについて ・上水道及び下水道について
④	 渡辺 正男	・「こども基本条例」制定の目的と理念は ・町制70周年記念事業にどう取り組むか ・新経済振興課とまちづくり観光局の役割分担をどうするか
⑤	 志鷹 慎吾	・移住・定住について ・空き家の有効活用について
⑥	 小林 克彦	・小学校 1 校統合について ・インバウンド関連事業について ・インバウンド関連事業外で、直面する喫緊問題について ・観光局の将来目標について
⑦	 白鳥 金次	・7年度予算について ・学校教育について ・県道の改良促進について ・インバウンドの対応について ・職員採用について

給食費無償化 町もできないか



ゆもと 湯本るり子

町長 選挙で公約したが 現状では厳しい

質問 無償化に必要な額は
あと約2000万円。やる
気になればできるのでは。

いる。近隣でも無償化がす
すむなか、移住してくる方

が増えるか疑問だ。
町長 必ずしも、給食費が

町長 町の財政状況も鑑み、
給食費の無償化に限らず、
あらゆる視点から子育て世

帯の支援を考えている。国
や県の動向を見ながら検討
する。

教育長 令和6年9月現在、
県内30町村で給食費無償化。
近隣では7年4月から、中
野市・木島平村・栄村が実
施すると聞いている。

質問 令和5年度は国の補
助金があり無料になったが、
6年度は半額補助だった。
現在は全国的にも無償化に
向けた取り組みが広がって



南小学校の給食風景

無償だから子どもたちが帰
ってくるわけではない。

質問 特に最近の物価高騰
の中「給食費何とかならな
いか」という保護者の声を
聞いている。ぜひ無償化に
向けた取り組みを。

教育長 予算は町長の権限
だが、教育費も含めできる
だけ経済的負担が軽減され
るような要望を上げていき
たい。

公共施設の 借地料の実態は

総務課長 全体で29件の借
地契約を交わしていて、総
額1480万円となる。そ
れぞれ担当課にて、借地料

の交渉や借地契約を行って
いる。

では、参考にさせていただ
きたい。

小学校の統合は

質問 2月7日付、北信口
1カルの記事「小布施町の
行革推進委員会では、公共
施設の借地料、継続利用予
定の土地は購入を前提とし
て交渉する」を見た。当町
でも審議会等を作って、検
討する考えはないか。また、
岳南広域消防本部の庁舎建
設の資料では、今は借地だ
が新庁舎は取得の方向と書
かれている。

質問 審議会の答申は。

町長 2月4日の教育委員
会定例会において、小学校
の適正配置および学校のあ
り方に関わる答申を受けた
と聞いている。

教育長 3月13日に開催予
定の総合教育会議で学校統
合にかかる考え方や方針に
ついて、町と教育委員が協
議し学校統合に向けた方針
の最終合意を得る。住民の
皆様にも周知と説明を行い、
新たな統合学校開校に向け
てさらに丁寧な合意形成を
はかっていきたい。

生涯学習課長 文化センタ
ーは、財政事情もあり、今
後検討する必要があるとい
う。

総務課長 近隣の借地の状
況など手続きや契約につい

ミャンマーのM7.7の
大地震、日本では南海
トラフ巨大地震の新被
害想定が公表された。
自分事として考えてい
きたい

湯本るり子のつぶやき

带状疱疹ワクチン定期接種化に向けた準備は

町長 新年度から定期接種となるためすすめている

補助開始に係るスケジュールは

質問 開始にあたり実施態勢は十分整っているか。

健康福祉課長 令和7年4月1日から開始時期となり、対象者は年度末年齢で65歳から5歳刻みの100歳まで、12年度以降は、接種時に65歳が対象となる。町内の医療機関をはじめ、中野市、飯山市等にて協力を得、実施可能となっている。

質問 国の方針が出るまでの検討は。

健康福祉課長 近隣市町村、また補助を実施している自治体に聞き取りを行い、補助の開始時期を模索しているが、国から定期接種化の情報が入ったため準備をすすめてきた。

質問 町民への周知・啓発の取り組みは。

健康福祉課長 伝言板・広報・ホームページ・ライン等、町で使用できるツールを使う他、健診や結果報告会等の機会を捉え、保健師等からも周知していく。



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

※1 防災士：防災に関する知識や技能を備え、社会の防災力を高める活動を行う民間資格。日本防災士機構が認証しており、「自助・共助・協働」を原則としている。
※2 自主防災組織補助金：防災士資格取得に要する額と、上限30,000円のいずれか低い額が補助される（町の制度）。

質問 地区防災計画策定支援の進捗状況は。

危機管理課長 現状では、策定済みの自主防災組織はない。自発的な防災活動を行うため、町ではホームページによりテンプレートを提供し、区長会や地区で実施する避難訓練等、機会を捉え作成の推進をはかっている。

地域での災害対応は

質問 過去の災害から防災士の育成が必要と考えるが、**危機管理課長** 防災士の役割は、家庭、職場、地域の様々な活躍が期待されている。防災士の資格取得には、防災に関して興味を持たれる地域の皆様が取得いただきたいという思いでいる。
※2 自主防災組織補助金の中でもこのメニューを取り入れて運用していきたい。

令和7年度から
65歳以上の方などを対象に
带状疱疹ワクチンの
定期接種を実施します。

带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です

带状疱疹ワクチンは2種類あります

①ワクチンの特徴	
生ワクチン(阪大研研)	組換えワクチン(GSK社)
接種方法	皮下に接種 筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回 2回(2か月以上の間隔をあげる)※
接種条件	病気や治療によって、 免疫の低下している方は接種できません

(※) 病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

依然として
物価高騰が続く
節約しても
追いつかない

畔上恵子のつぶやき

不登校に係る対策は

教育長

児童・生徒に寄り添った個別支援に取り組む



つかだ かずお
塚田 一男

- ※ COCOCOプラン：誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策のこと。2023年3月、文部科学省で公表され、次の3つの柱で構成されている。
- 1 不登校の児童・生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える。
 - 2 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する。
 - 3 学校風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする。

日本列島各地で林野火災が発生したが、地球温暖化の影響と考える。環境および自然のためにも、火気の取り扱いには互いに注意したい

塚田一男のつぶやき

いじめと
不登校の現状は

未現在)の報告件数は、小
学校で延べ15人、中学校18
人。

質問 不登校に係る対策は。

教育長 令和6年度(1月

未現在)の報告件数は、小
学校5件、中学校1件。

質問 いじめに係る対策は。

教育長 町および各学校で

策定の「いじめ防止基本方針」に基づき、本人および保護者から相談できる体制を整備している。また、初期対応を重視し、重大化させないために学校職員間と教育委員会での密な情報共有や県が実施する研修等に参加。

質問 不登校の現状は。

教育長 令和6年度(1月



4月に開設した町教育支援センター

教育長 不登校に至るまでの経緯と背景は個々に様々であり、学校や支援関係者、また、町の教育指導主事や家庭児童相談員が密に連携をすすめ、不登校児童・生徒に寄り添った個別の支援に取り組む。なお、4月に町教育支援センターを開設し、生活面や学習環境の充実をはかる。

質問 不登校支援は、休み始めて3日が勝負という考えがあるが、この理解でよいのか。

教育長 基本的に早期対応が重要で、個々の児童・生徒の状況に応じて、子の心情を優先した対応をはかつ

ていくことが重要。
質問 誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策(COCOCOプラン)をどう考えるか。

教育長 まず、居場所をしつかりと確保、通学できない時期における学習の保障を含めた。学校に戻りたいと思ったときに戻れるような環境づくり、家庭や地域を含めた子どもを真ん中にした支援の環境づくり、幅広い体験活動の環境づくりなどが重要と考える。

質問 教育支援センターでの不登校児童・生徒に寄り添う対策の概要は。

教育長 4月以降は、通所を希望する児童・生徒へ個々に対応をしながら、何

をしたいかを丁寧に聞き取り、その子に合せた活動や学習プログラムを子どもと一緒ににつくりたい。
また、必要な環境および人的な体制整備を徐々に拡充できればと考える。

「こども基本条例」 制定の目的は

教育長 こどもの権利・利益尊重の指針となる理念条例

**こどもの権利を
どう規定するか**

教育長 国際法である子どもの権利条約とこども基本法で示されているこどもの権利を保障し、こどもに関わる全ての大人が尊重することを定めている。町として、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利の4つの権利にまとめている。

**こども、保護者、
町の役割は**

教育長 こどもの権利を尊重し、最善の利益を追求するのは大人の役割であるという認識から、大人や町が取り組むべき役割を明確に定めることを主眼とし、こどもたちに何かしらの役割を求めることはあえて記載していない。



わたなべ まさお
渡辺 正男

※ 逐条解説（ちくじょうかいせつ）：条文を一条ごとにその理念・目的・意義等について解説した文書。

町こども基本条例逐条解説



こども基本条例パンフレット（町のホームページより）

質問 こどもの役割について、逐条解説の中では、第1案、第2案と2つ案があったが、両方とも消えて、明記しないということになったそのいきさつは。

教育長 審議会でも重要な議論のポイントになった。町においては、こどもの基本的人権を尊重し守るのは大人の役割である。その覚悟や決意をしつかり示すことが最優先というところから、そこを特に強調しようという議論がまずあった。自然権として、こどもには

**こどもの意見を聞く
機会をどう設けるのか**

質問 「自分の意見を自由に表し」という意見表明権が一番大事な権利と思うが。

教育長 6年度は、山ノ内中学校の生徒によるまちづくりこども委員会を3回開催し、町の子育て施策や第三期町子ども・子育て支援事業計画、こども基本条例、小学校の統廃合について、それぞれ意見を聞く機会を設けた。今後、学校統合に

生まれたときから、生まれる前から、基本的人権がもう備わっている、保障されているというのが大前提。義務を果たさなければ権利が保障されないというような誤解を生むのではないかという議論もあり、今回はあえて条項を入れなかった。

質問 まちづくりこども委員会とは。

こども未来課長 本年度、初めてつくった。当初、中

学生の皆さんに公募でお願いしたところ、1人の応募のみだった。その後、中学校と相談する中で、各組から代議員2人ずつの12人プラス公募委員の13人で、議論していただいている。

質問 多くのこどもたちの

思い、願いをしつかりと施策に反映できるよう今後も努力していただきたい。

「桜など散りぬるも
なほ世の常なりや」
（枕草子）
無常なるが故に
美しい

渡辺正男のつぶやき

議会報告会で 物件・住居が少ないと…

町長 同様の認識 住む場所の選択肢を

移住・定住は

【質問】 須賀川の体験住宅は、移住・定住に繋がっているか。

【未来創造課長】 本年度2月末時点で7組、61日間の利用実績ではあるが…。

【質問】 福井県越前町は移住2地域居住体験を施策。施設利用で移住者23人。異なる目的を持った体験施設で移住促進へ繋がるのでは。

【未来創造課長】 須賀川の体験施設でも問題はない。オーダーメイドツアーでは、空き家バンクの内見も体験。

【質問】 別荘や週末住居を持つ2地域居住アプローチは。



D I Yイベントで移住者向け住宅として活用予定の旧東小教員住宅

【未来創造課長】 まちづくりと併せてすすめていくべき。

【質問】 富山県南砺市井波地域は民間と協力しサポート。

【未来創造課長】 民間との連携はすすめていくべき。湯田中の使われていない教員住宅をD I Yイベントで専門家と連携し移住者向けとして活用予定。

【質問】 令和6年4月1日から相続登記の義務化。空き家の見直し、活用などを促すために、アクションを起こすべきでは。

【建設水道課長】 罰則等も設けられているが、現状は登記手続がすすんでいない。問題解決に向けて取り組みたい。

空き家を出さない取り組みは

【質問】 補償金制度や空き家バンク制度の活用はあるが、より行政が所有者に寄り添い相談できる環境・対策を。

【建設水道課長】 適正な管理がされていない空き家増が問題。速やかな情報提供等が一番大事。

【質問】 空き家の固定資産税額が最大6倍になるとは。住民税務課長 行政から特定空き家と勧告を受けた翌年度から6倍程度になる。

【質問】 特定空き家に指定・勧告は、誰がどういうタイミングで。

【建設水道課長】 空き家等対策協議会が調査結果及び協議会での意見を踏まえ町長が認定。

【質問】 空き家バンクへの登録を促すことは大切では。

【未来創造課長】 住民税務課とも協議し、引き続き加入に向けて促進していく。

【質問】 越前町は専門家によるセミナーを開催。当町は。

【建設水道課長】 県が行っている対策の住民啓発講座、相談会事業を申請している。

【質問】 リモートなどで、情報提供や相談体制の充実をはかるべきでは。

【未来創造課長】 参考意見として承る。

【質問】 空き家は、町の大切な資源。地域の活性化が期待できるのでは。

【町長】 空き家の利活用は非常に大きなテーマ。利活用に向けて告知。町としてしっかりと対策をしていく。



志鷹 慎吾

※ 空き家バンク：空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用・活用したいとお考えの方に紹介する制度。

町の活性化には空き家利用が不可欠。対策も含め、見直す時期に来ているのでは

志鷹慎吾のつぶやき

やっと動き出す 小学校1校統合

町長 教育委員会や審議会での議論を尊重したい



こばやし かつひこ
小林 克彦

※ CGM48: タイ・チェンマイを拠点に活動する女性アイドルグループ。AKB48グループのひとつである。令和5年8月に観光大使に任命された。



CGM48公式サイト
(タイ語)

質問 これまで議論されてきた、小中一貫校と最終案の義務教育学校は、大方の人は、ほぼ同じ内容の学校と認識して、小中一貫校を議論してきていたと思う。この両者の学校の違いは何か、表現を変えたただけのように思うが。

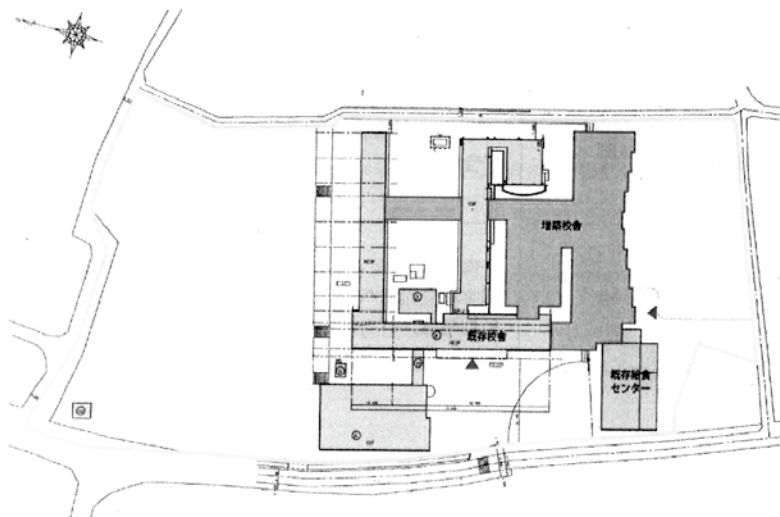
教育長 義務教育学校は、1つの学校であることに対し、一貫校は小学校・中学校がそれぞれ独立した学校で連携するものであり、2つの学校を1つの方針で運営していくという根本的な違いがある。

質問 1つの学校で9年間を過ごすメリットは。

教育長 1人の校長のもと明確な教育方針で切れ目なく合理的な教育ができる。

質問 町長が立ち止まった理由の1つに用地が狭いとの指摘があった。物理的な

○統合学校の増築校舎配置イメージ図



結局場所は中学校敷地

面積は広くならない。

教育長 大規模改修の済んでいる中学校舎を利用し、不足部分のみを増築。でき

る限りゆつたりとした環境をつくりたい。

質問 今後は最大限のスピード感を持ってすすめるべ

き。ロードマップはどうか。

教育長 7年度は学校づくりの議論、8年度以降で基本設計、実施計画、10年度に建設着手、開校は12年度と計画している。

インバウンド 関連は

質問 タイのプロモーションビデオの制作費、利用状況とタイの反響はどうか。

町長 製作費は488万円。観光局のYouTube等で配信。7万8千回以上の視聴で、観光大使に任命しているCGM48と共に一定の効果があると感じている。

質問 タイでの誘客イベントを行った際、利用した航空便のクラスは何か。

町長 体調管理と帰国後そのまま大阪で公務を行う事情で、私だけが成田空港からビジネスクラスで行った。

質問 エコノミークラスの4倍程の料金がかかるビジネスクラスの利用は、特殊なケースであったということか。町長とタイ現地で会われたビジネスパートナーとは、どのような仕事をされているのか。

町長 私の会社の業務はイベント企画・運営・機材の輸出入、スキー場リゾートの運営コンサルティングであり、他にも3人ほどいる。

質問 そのビジネスパートナーは、どんなイベント準備をされたのか。

町長 別の会社の音楽イベント。

質問 今回のタイ行きの一連の行動は、公私混同でありダブル営業の懸念を持たれることが必定と感ずる。

経験は
やりがいを生む

小林克彦のつぶやき

小学校1校統合後 空き校舎の利活用は



しろ とり きん じ
白鳥 金次

町長 1校舎は放課後コミュニティ・スクールを考えている

町長 1つ、必ず使いたい
と思っているのは、放課後
活動、またスポーツクラブ
や児童クラブなどを一極集
中させて、しっかりとコス
ト効率よく、よりよい環境
を子どもたちに提供できる
ような、そういう習い事と
かも含めた、放課後コミュ
ニティ・スクールのような
また、そこがもししたら
不登校の子どもたちのより
どころにもなるような、そ
んな施設に転換できればと
思う。

質問 日本語学校の検討は。

町長 労働力不足がこれか
ら悪化していく中で、外国
人の皆様とも一緒に生活を

していくプラットフォーム
をつくることを考えたとき
日本語を勉強できる、また
日本の文化も勉強できる学
校があってもいいと思っ
ている。プラス、例えば我
れの観光地としての必要な
人材を育成するための専門
学校、ホテルとかスキー場
の人材育成をするような学
校を日本語学校と併設する
ことで、収益性を高めなが
ら、ニーズのあるもので、
需要と供給を満たしてい
くと考えられる。あくまでも
私案、これから議論をして
いくべき。

質問 町長の私案が示され
た。教育委員会の考えは。

教育長 教育委員会として

は、本来学校は子どものた
めの施設であるので、学校
でなくなっても、やはり地
域の子どもたちがその場を
有効に活用して、様々な体
験を幅広くしたりとか、地
域の皆さんと交流したりと
か、山ノ内町は文化も豊か
で、いろいろな伝統工芸が
ある。そういった文化や歴
史を地域の方から子どもた
ちが学ぶような、学校の外
でそういう場所がさらにで
きていくことが望ましいと
思っている。学校統合の議論
と併せ、同時進行で、空い
た施設の有効活用をすすめ
ていきたい。

通学路の

歩道整備は

質問 佐野遺跡前の歩道整
備の進捗状況は。

生涯学習課長 現在策定中

の佐野遺跡保存活用計画に
おいて、誰もが安全で通り
やすい歩道の設置を課題と
して示し、史跡内の整備を
行う場合に解消すべき問題
点を明確にし、文化庁や県
と協議をすすめている。

今後、実際の歩道を兼ねた
園路の整備には、整備基本
計画が必要になり。そこで
内容を明示する必要がある
ので、7年度に文化庁に現
地を実際見ていただく中、



佐野遺跡に歩道を兼ねた園路を

8年度から計画策定に着手
し、建設事務所や地元佐野
区、また南部地区協議会と

連携しながら、早期の整備
実現に向け、着実にすす
めていきたい。

縄文時代に
思いをはせる
高度な狩猟採集社会
として豊かな文化を
育みながら
自然環境守り
共に生きていた
現代人？

白鳥金次のつぶやき

こども海外留学支援補助金を巡り 2日間におよぶ議論

予算審査にて減額修正となるも本会議では否決

修正案 委員長提案説明

12日の予算審査全体会議では、小林仁議員から減額修正の動議が提案された。提案理由は、5か所で開催した議会報告会にて、補助金是非について多くの意見が出されたこと。現在渡米中の対象者が困らないよう、他の公的に近い給付型補助金に鑑み300万円とすること。また、ショートステイやトレーニングによる短期留学、遠征にも拡充して「世界で活躍したい」という、子どもが増える性格の補助金となるよう減額すべきと提案。

7年度の予算審査は、3月5日に予算決算審査委員会（委員長Ⅱ白鳥金次副委員長Ⅱ湯本るり子）に付託、6日から5日間にわたり審査を行いました。一般会計は、審査委員会での減額修正案に対し、本会議では、賛成6反対6の可否同数となり、議長の裁決により減額修正案は否決され、原案に対し賛成11反対1で可決しました。国民健康保険特別会計は、全会一致で可決しました。介護保険特別会計は賛成多数（反対2）で可決。そのほかの特別会計と公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、水道事業会計は全会一致で可決しました。

減額修正の内容は

審査委員会では、こども海外留学支援補助金1000万円の予算に対し300万円とする減額修正動議が出され、2日間にわたる議論の末、採決は賛成6反対6の可否同数となり、委員長の裁決により修正動議は可決。

本会議では委員会の修正案に対し議員4名の討論（賛成2、反対2）の後、採決では可否同数となりました。最終的には議長裁決で修正案は否決されました。

部会意見

一般会計

（議会費）

○DX推進事業（タブレット・動画配信など）と整合した予算に配慮すること。

（総務費）

○ふるさと寄附金返礼品（特に農産物）は、さらなる充実をはかり目標達成に向け取り組むこと。

○官民連携事業は持続可能なまちづくりに向け、効果が上がるようつとめること。

（危機管理費）

○全町での地区防災計画策定

に向け、積極的な支援に取り組むこと。

（民生費）

○こども・子育て関連業務におけるキャッシュレス決済の運用を検討すること。

○こども家庭センターの運用にあたっては、利用者の利便性に配慮すること。

（農林水産業費）

○林道は定期点検につとめ、計画的に整備すること。

○地域計画に基づき、遊休荒廃農地解消に向け取り組むこと。

（土木費）

○湯田中ぼうさい広場整備事業の工事には、万全を期すこと。



湯田中ぼうさい広場完成予想図

（商工費）

○トップセールスの効果を検証し、その内容を公開すること。

○町行政とまちづくり観光局との業務分掌ならびに、それに伴う費用を明確化すること。

（消防費）

○消防団に配備した消防車両および機器は、適正な維持管理につとめること。

（教育費）

○通学定期券購入補助金の対象者および補助率の拡充をはかること。

○学校統合は子どもたちの教育環境が、より良いものとなるようつとめること。

○部活動の地域移行は状況の把握につとめ、広域連携を視野に入れて検討すること。

○総合型地域スポーツクラブは、拠点となる体育施設の検討をおこなうこと。

○給食費の公会計化および無償化の検討をおこなうこと。

○上林総合グラウンドの利活用は、整備計画を策定し促進していくこと。

水道事業会計

○アセットマネジメントに基づき、停電対策を含め施設の適正な維持管理につとめること。

予算決算審査委員会の7年度予算審査での主な質疑・答弁は以下のとおりです。

ここが疑問

予算決算審査委員会

畦畔用防草対策導入補助金は

【問】土手に使用する防草用ネットの購入補助である。1件につき10万円を上限として、購入費の1/3を補助。

PFASの水質検査は

【答】5、6年度は水源の原水を調査したところ、検出されなかった。7年度は上水の検査を予定している。

下水道管の老朽化は

【問】管はコンクリートおよびVU。問題はコンクリートだが、勾配が急であり硫化水素がたまる心配はない。昭和63年供用開始のため耐用年数(50年)に問題はない。

社会体育館跡地利用は

【答】ぼうさい広場として活用。7年度春工事着手、年度内完成。

空き家対策

【問】確認はどつやつて。

【答】区長や近隣からの報告に基づき現地確認を行っている。

【問】空き家を除却する場合補助金は。

【答】危険空き家について、上限100万円。2件を見込んでいる。

ドッグラン広場

【問】整備内容は。

【答】戸狩側にあるドッグランの防護ネットを整備する。



求人求職マッチングシステムの実績は

【答】応募登録者398人、事業者40社。応募者の6割が女性で40〜50代がほとんど。事業者の半分は宿泊業。マッチング状況は良好。

空き店舗活用事業

【問】要綱の見直しとは。

【答】町内在住者を対象とし、併せて施工業者も町内業者とすることを検討中。

エビモリ事業

【問】今後も植樹は続くのか。

【答】植樹は昨年で終了。今後は育樹。

子育て世帯訪問支援事業は

【答】若年妊婦などの家事・育児支援に対応。

こども家庭センターは

【答】健康福祉課健康づくり支援係、こども未来課保育・幼児教育係の2課に分かれる。

教育支援センターの運営および内容は

【答】4月1日から正式スタート。職員2人体制で受け入れは2人。児童・生徒のニーズに適った対応を目指す



予防接種の内容を増

【問】具体的な疾病は。

【答】おたふくかぜ・帯状疱疹のワクチン接種を追加

7年度一般会計予算の修正案に対する討論

賛成討論

志鷹 慎吾

反対討論

高田 佳久

ESD教育活動の一環として、こどもたちが国際的な視野を広げるため、海外での学びや体験をすることは、非常に意義深い。だが、補助金額の上限1人年額500万円、交付対象者は3人を上限など、税の公平性、留学支援の制度設計の整合性がらみても、バランスが取れていないように思える。どのこどもも参加できる権利があり、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育てるものにならなければならない。

⑤一般質問や予算審査での質疑所管課と協議がないまま、突然の減額修正。

賛成討論

小田 孝志

反対討論

小林 克彦

制度設立当初から、なんで一人に500万円もかけるのという声が周りからあった。議会報告会の席上でも疑問の声や、できるだけ多くの子どもたちに留学の機会を与えてほしいという声が上がった。

こはいったん立ち止まり、持続可能な制度となるよう、短期・長期や金額を含めた制度のブラッシュアップと、給食費の無償化や通学定期補助率のアップ等幅広い子育て政策を切望する。

がルールで、手順に明らかな誤りがあり反対です。



スノーモンキーパーク待合所

総括意見

(抜粋)

予算決算審査委員会
委員長 白鳥金次

7年度一般会計予算の総額は84億4200万円、前年度に比べ7億5900万円(9.9%)の増となっている。当初予算としては過去10年間で最大の予算となった。

① 歳入について

町税収入(歳入に占める構成比20.1%)は、前年度比117.5万円(0.7%)増の16億9492万円となっている。税収確保と税の公平性維持の観点からも収納には、最大限の努力を払われた。地方交付税(構成比33.4%)は、前年度比1億円(3.1%)増の28億2000万円を見込んでいる。ふるさと寄附金については前年度比1億7000

② 歳出について

町税収入(歳入に占める構成比20.1%)は、前年度比117.5万円(0.7%)増の16億9492万円となっている。税収確保と税の公平性維持の観点からも収納には、最大限の努力を払われた。地方交付税(構成比33.4%)は、前年度比1億円(3.1%)増の28億2000万円を見込んでいる。ふるさと寄附金については前年度比1億7000

町税収入(歳入に占める構成比20.1%)は、前年度比117.5万円(0.7%)増の16億9492万円となっている。税収確保と税の公平性維持の観点からも収納には、最大限の努力を払われた。地方交付税(構成比33.4%)は、前年度比1億円(3.1%)増の28億2000万円を見込んでいる。ふるさと寄附金については前年度比1億7000

町税収入(歳入に占める構成比20.1%)は、前年度比117.5万円(0.7%)増の16億9492万円となっている。税収確保と税の公平性維持の観点からも収納には、最大限の努力を払われた。地方交付税(構成比33.4%)は、前年度比1億円(3.1%)増の28億2000万円を見込んでいる。ふるさと寄附金については前年度比1億7000

町税収入(歳入に占める構成比20.1%)は、前年度比117.5万円(0.7%)増の16億9492万円となっている。税収確保と税の公平性維持の観点からも収納には、最大限の努力を払われた。地方交付税(構成比33.4%)は、前年度比1億円(3.1%)増の28億2000万円を見込んでいる。ふるさと寄附金については前年度比1億7000

小中学校の特別教室へのエアコン設

置費用を新規計上し、児童・生徒の学習環境改善をはかっている。海外留学支援事業は、多くのこともたちの挑戦を支援するために要綱を抜本的に見直し、門戸を広げることが望ましい。

都市基盤・生活環境分野では、「ゼロカーボンシティ」の推進を踏まえ、地域福祉センターをはじめとした公共施設の照明LED化事業を新規計上。防災機能を備えた公園の整備として、旧社会体育館跡地に(仮称)湯田中温泉公園整備工事を計上。

移住・定住施策として、新規に遊休資産活用移住者向け住宅整備事業として、旧東小教員住宅をDIYに共感する人を募り、リノベーションし活用する。多くの人の参加により完成を望む。しかし町内の賃貸住宅は依然として慢性的に不足状態にある。官民連携で賃貸住宅建設事業の構築を期待したい。

③ まとめ

町制施行70周年を迎え、町はどんな道を歩んできたのか振り返り、将来像「未来に羽ばたく、夢と希望のある健康の郷土」実現に向けてすすんでいきたい。そのためには民間活力の導入は避けては通れない。ふるさと山ノ内町を築いてきた先人に感謝するとともに、輝かしい未来とともに切り開いていきたい。

7年度一般会計予算の原案に対する討論

賛成討論

渡辺正男

ふるさと寄附金は、1億7000万円増の5億5000万円を見込み、合計52事業に充当予定だが、安定財源として依存し過ぎるのは注意が必要。歳出の小中学校教員加配事業70008万円は、前年度の6056万円、前々年度の3893万円に対し、大幅増額。国際理解教育推進事業も継続で2640万円。新規事業の不登校支援713万円も町独自の教育支援策としてその成果に期待したい。

反対討論

渡辺正男

5年度も、昨年3月補正段階で保険給付費17億4852万円を見込んだが、決算では16億5715万円と大幅減額となり、基金は2146万円の積み立てとなった。7年度の保険給付費は、17億4796万円と相変わらず過大見込み。被保険者数は5年度の4748人より144人も減少している。多額の実質余剰金があり、第9期の介護保険料は値上げどころか思い切った値下げができたはず。

反対討論

山本光俊

特定の個人や事業者に対し手厚い制度が散見される。物価高騰により町民の生活は厳しく町民の生活支援を最優先とするべき。影響は深刻。批判のある海外留学支援補助金は一人年間最大500

皆さんからの 陳 情

受理番号	件 名	陳 情 者	採決結果
陳情第1号	価格による入札方式における最低制限価格等の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定についての陳情書	一般社団法人 長野県建築士事務所協会 中高支部長 蟻川 幸治	採択 (賛成多数)
陳情第2号	2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充についての陳情書	一般社団法人 長野県建築士事務所協会 中高支部長 蟻川 幸治	採択 (賛成多数)
陳情第3号	業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化についての陳情書	一般社団法人 長野県建築士事務所協会 中高支部長 蟻川 幸治	採択 (賛成多数)
陳情第4号	建築士事務所賠償責任保険への加入についての陳情書	一般社団法人 長野県建築士事務所協会 中高支部長 蟻川 幸治	採択 (賛成多数)
陳情第5号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める要望書	パワハラから職員を守る都道府県民の会連絡会 事務局長 佐々木 一也	不採択 (全会一致)

議会側からの 発 委

	件 名	提 出 者	採決結果
発委第1号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議会運営委員会	可決 (全会一致)
発委第2号	議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	議会運営委員会	可決 (全会一致)
発委第3号	議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議会運営委員会	可決 (全会一致)

議会全員協議会

第1回（1月8日）

(1)議会側からの提出案件

- ①第18回議会報告会について
- ・報告会資料 ・アンケート

第2回（1月22日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業について
- ②令和6年度過疎対策事業債の減額調整(第2次分)について
- ③地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- ④令和6年12月降雪による果樹被害について

第3回（2月26日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①志賀高原辺地に係る総合整備計画の策定について
- ②いのち支える自殺対策推進計画の策定について
- ③第三期子ども・子育て支援事業計画について
- ④文化センターの大規模改修について

(2)議会側からの提出案件

- ①岳南広域消防本部の新消防庁舎建設について

②議会報告会の結果報告等について

第4回（3月5日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①議案第2号 令和6年度一般会計補正予算等（第10号）について

第5回（3月19日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①財務書類（令和5年度決算）について
- ②ローカル10,000プロジェクトについて
- ③シティフレグランスの創出について
- ④学校統合について

(2)議会側からの提出案件

- ①学校づくり準備委員会委員の推薦について
- ②ゼロカーボン推進協議会委員の推薦について

第6回（3月19日）

(1)議会側からの提出案件

- ①副町長への申し入れについて
- ②こども海外留学支援補助金に係る提言について

第18回 議会報告会

第18回
議会報告会
結果報告



5会場に148人が参加 多くの意見・要望をいただきました。

第18回議会報告会は、1月19日のすがわふれあいセンターを皮切りに2月1日のよませふれあいセンターまで5会場で開催しました。今回は「人口減少時代のまちづくりをどう考えるか」をテーマに、議論が交わされ、多くのご意見・ご提言をいただきました。

議会として真摯に受け止め、誠意をもって応えていきたいと思えます。

なお、今回出されたご意見・ご質問に関しては、結果報告書としてホームページにも掲載しました。ご協力いただいた各地区の関係各位ならびに参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。



南部会場の様子

開催日	1月19日(日)	1月24日(金)	1月25日(土)	1月30日(木)	2月1日(土)
地区	北部	東部上	南部	東部下	西部
参加者	13人	34人	34人	39人	28人



町長への申し入れ (3月19日)

議会からの報告

町長、副町長に申し入れ

(1) こども海外留学支援補助金に係る申し入れ

経過

7年度予算審査の過程において、要綱の見直しを検討すべきという全議員の意見がありました。後日、こども海外留学支援補助金の要綱等に関して、議会として検討することに決定したので町長へ申し入れ書を提出しました。

内容

こども海外留学支援補助金に関する、議会の検討結果を後日提出します。また、意見交換会の開催を求めます。

(2) 副町長への申し入れ

経過

議会だより1月号をご覧になった町民より12月定例会の山本光俊議員の一般質問記事について質問が議会あてに届きました。答弁において顛末報告を検討する旨の意思表示がありました。町民のへの回答も含め、町長への疑義を明確にするため申し入れ書を提出しました。

内容

タイでのトップセールスにおける疑義について、関係者へのヒアリングや証拠書類等の確認を行ったうえで、顛末報告の検討を書面にて提出を求めます。



(申し入れの詳細はこちら)

DX 推進事業は、住民の利便性向上をはかるとともに業務効率化につとめること。

DX の推進については、令和5年6月27日付にて議長から議会運営委員長へ諮問された内容の一つとして、議会運営委員会にて、業務の効率化をはかるため、ペーパーレス化やタブレット導入・動画配信など、議会運営委員会（活性化）のなかで検討がされ、令和6年12月17日付にて答申が提出されました。

令和7年度中にタブレットの導入を目指すことで、継続して検討がなされることとなりましたが、導入にはイニシャルコストとランニングコストが多額であり、議員個人のスキルアップや、限られた人員で運営が可能かなど、いろいろと解決しないといけない問題があるため、住民への利便性向上をはかる意味で重ねて検討をする予定です。

こども海外留学支援補助金の運用については万全を期すこと。

交付基準を明確に定め、審査体制を構築し、対象者及びその保護者を公平に審査しています。また、補助金に関する情報を公開し、ホームページ等で公表しています。

なお、年度末の実績報告により適正な活用が行われたか検証するとともに、報告会等の対応も求めています。

小学校統合は子どもたちの教育環境がより良いものとなるようにつとめること。



小学校統合にあたっては、山ノ内町立小学校適正規模適正配置等審議会を開催し、小学校の適正配置に関すること、学校統合の在り方についての答申をいただくなか、教育委員会では義務教育学校の設置を前提に山ノ内中学校敷地での令和12年4月開校を目指していくことを基本に検討をすすめているところであります。

学校統合に向けては、教育の内容が重要との意見もいただくなか、「山ノ内町こどもワクワク教育未来ビジョン」を提案し、「ESD」、「グローバル教育」、「スポーツ芸術」、「人権教育」の4つの学びを教育の柱に、地域と連携したコミュニティスクールを構築し、こどもたちがワクワクできるような学校づくり、教育環境やし施設整備に向け、学校づくり準備委員会などで検討・準備をすすめてまいりたいと考えております。

町行政とまちづくり観光局との業務分掌ならびにそれに伴う費用を明確化すること。

町産業振興課とまちづくり観光局（以下 観光局）との業務分掌については、観光局が本年度より始動したこと、町長が理事長であることなどから観光振興における観光局への一元化はできていなかった点があります。また、県観光スポーツ部・県観光機構、観光団体等との調整や対応なども業務においては分掌化できていないことがありました。

令和7年度からは、観光振興に関わる業務を観光局に一元化するとともに、費用についても補助金・負担金・委託料により明確化をはかっていきます。

自然に恵まれた山ノ内町 積極的な環境保護を

山ノ内町では国際的な認知度が高まり、外国人移住者が増えています。北信ローカルで「ケビンの言いわせて!」を掲載しているマヤソン・ケビンさんに今回はインタビュしました。彼は、異なる文化を尊重し、相手を理解しようとする姿勢があれば、言葉の壁があっても信頼関係が築けるとのことでした。この会話を通じて、共存には思いやりと柔軟な姿勢が重要だと改めて感じました。

1 山ノ内町に来る前は何をしていたか?

昭和38年米国ミシガン州生まれ、アリゾナ州立大学で国際ビジネスを学びました。大学在学中の昭和61年に日本を訪れ、日本語を学びたいと考えました。昭和63年にリクルートのオフア

ーで来日し、編集と営業を経験。その後、同僚と「レインボー・ジャパン」を設立し、CGアニメーションやゲーム開発、ウェブ制作などを手がけ、22年間社長を務めました。韓国にも子会社を設立し、平成21年にシリコンバレー企業へ売却。平成24年

に軽井沢へ移住し、会社を譲渡後に引退。平成25年にバーを開業するも、令和2年のコロナ禍で閉店。その後、山ノ内町へ移り、不動産開発やコラム執筆を行っています。

2 なぜ山ノ内町を選んだのですか?

最高のスキー環境があるこの町を本拠地に決めました。最初はスキー目的で訪れ、年間120日以上滑るほど魅了され、4年前に別荘を購入しました。スキーは人生に欠かせない存在で、自由とスピード感、美しい景色を楽しめます。町の魅力は、優れたスキー環境、温かい地域コミュニティ、高品質な農産物、豊かな自然環境にあります。特に温泉が豊富で、毎日2回入るのが日課です。

3 これから山ノ内町で何をしたいのですか?

不動産開発やコラム執筆を通じて地域に貢献し、「信越美食バレー」などの活動で山ノ内町の魅力を発信していきたいと考えています。「稼げる農業」と「観光産業」の両立には豊かな食文化が不可欠であり、高い食文化が長期的な成功につながると信じています。このプロジェクトを生きている限り少しずつ成長させていきたいです。

4 山ノ内町も含む日本で文化



や社会規範などで苦労しましたか?

山ノ内町は住みやすく、住民も温かく受け入れてくれますが、行政の対応には改善の余地があるかもしれません。日本文化は難しく感じませんが、北信地域特有の習慣や暗黙のルールが分かりにくいことがあります。新しい住民を迎えるためには、地域として透明性のあるルールや期待を示すことが重要だと考えます。

5 山ノ内町に思うことはありますか?

山ノ内町は自然環境に依存しているため、環境保護にもっと積極的に取り組むべきです。特に、志賀高原へ向かう古いトラックやバスの排気ガス削減が重要だと感じます。また、スキーが町の最大の経済活動であることを認識し、質の高いスキー体験に注力すれば、経済を強化しつつオーバーツーリズムの課題も回避できると思います。

編集後記

4月1日、町は町制施行70周年を迎えました。「昭和の大合併」という大波のなかで、決してスムーズとは言えない合併でした。昭和30年4月1日のことです。同じ日、東京の「中野大勝軒」では、「特製もりそば(つけ麺)」なる新メニューが誕生しました。今ではメジャーになったこのメニューの生みの親が、かの「ラーメンの神様」として有名な故山岸一雄さん(旧穂波村出身)です。

町も、つけ麺も、時代とともに歩み、成長を続け、歴史を刻んできました。この「ふたつの70年」が重なる節目の年、町は6月1日に志賀高原総合会館98で記念のトークイベントを開催します。当日は山ノ内大勝軒で「復刻版もりそば」も提供されます。

今年の4月1日は、奇しくも山岸一雄さんの10回忌とも重なっています。今回のイベントが、先人の偉業に学ぶことから、ふるさと山ノ内をもう一度見つめ直す機会になることを期待しています。(渡辺正男)